

2022年8月26日

大分県知事 広瀬勝貞殿
大分県教育長 岡本天津男 殿

日本共産党大分県委員会
委員長 林田澄孝
日本共産党大分県議団
堤 栄三
猿渡久子

安倍晋三元首相礼賛の国葬に反対し、弔意の強制を行わないことを求める申し入れ

安倍晋三元首相が7月8日、奈良市内で街頭演説中に銃で撃たれて亡くなりました。政治家の命を卑劣なテロで奪ったことを強い憤りをもって糾弾し絶対に許すことはできません。

しかしその安倍晋三元首相の死亡を受けて、岸田政権は国葬を9月27日に東京・日本武道館で行うことを決定しました。法的根拠がなく、国会審議もなしに閣議決定で行うということは、民主主義を踏みにじるやり方です。

安倍氏国葬の是非をめぐる世論は二分されており、「国葬は必要ない」という意見も多数から出されています。この国民の懸念に耳を貸さず、安倍政治を賛美礼賛する国葬の決定を押し切った岸田政権の姿勢は重大です。

最大の問題は、国が費用を丸抱えする国葬は、安倍元首相に対する弔意を、個々の国民に対して、事実上強制することにつながることです。過去にも、政府が故中曽根康弘元首相の政府・自民党合同葬の際に、弔旗の掲揚や黙とうなどを大学や教育委員会、自治体、官公庁などに求める通知を出しています。弔意というのは、誰に対するものであっても、弔意を示すかどうかも含めて、すべて内心の自由にかかわる問題であり、国家が弔意を求めたり、弔意を事実上強制したりすることは、あってはならないことです。

以上の重大な問題点を考慮し、日本共産党は、このような形での「国葬」の実施に断固反対します。

以下2点を要請します。

- 1、 安倍晋三元首相礼賛の国葬に反対すること。
- 2、 県民や自治体に弔意を求めたり、弔意を事実上強制したりしないこと。